

## 共に生きる社会をつくるために

「中国帰国者問題」とは「中国帰国者」が帰国してから直面している生活にかかるさまざまな問題のことです。

長年の中国での生活で、現在の日本の社会への適応は簡単にはいきません。また、一緒に帰国した家族は、もともと中国で生まれ育った人たちであり、日本語が全く理解できないため、文化や習慣もなじめないことが多いのです。

こうした「中国帰国者問題」は私たちと共に生きて、豊かで幸せな生活を送れるようになるために、解決が必要なことです。

国は、「中国帰国者」に対する支援が国の責務であるとして法律を定め、住宅の供給の促進、雇用の機会の確保、教育の機会の確保などの施策を実施しており、福山市でも関係の業務を取り扱っています。

しかし、行政的な対応だけで問題が解決することにはなりません。一人ひとりが理解したうえで、私たちの社会が「中国帰国者」をどのように迎えるかが大きな意味を持っています。

## 「私たちに何ができるでしょうか」

年齢やさまざまな事情により、日本語の習得が不十分な「中国帰国者」がいます。そうした場面に遭遇した場合、私たちは相手の立場に立って、何を言おうとしているのかをいかに聞き、ゆっくりと話し合えば、理解できることも増えていくのではないのでしょうか。

また、文化や習慣の違いは、当然あるものとして接することが大切です。その上で、日本社会の文化や習慣を理解してもらう必要もあります。それと同時に、中国の文化を紹介してもらうという相互交流も必要です。

さらに、言葉や習慣などの問題から、孤立しないように、周りからの積極的な声かけや働きかけが大切です。

そして、『中国帰国者はみんなこうだ』という型にはめた見方にとらわれることなく、日常生活の中で、ふれあいを深めていくことがなによりも大切です。そのためには「中国帰国者」を支援している人たちだけでなく、私たちがこの問題を知り、何ができるかを考え、ささやかなことでも実行してみることも大切なのではないのでしょうか。

### 誰でも話せる簡単なあいさつ

|   |   |
|---|---|
| ニイハオ (ニン ハオ)<br>你好 (您好) こんにちは<br>nǐ hǎo nín hǎo | ウオジャオ<br>我叫 ○○ わたしは○○といます<br>wǒ jiào              |
| チューツージェンメン<br>初次见面 はじめまして<br>chū cì jiàn miàn   | チンドゥワグアンジャオ<br>请多关照 どうぞよろしく<br>qǐng duō guān zhào |
| ニングイシン<br>您贵姓 おなまえは<br>nín guì xìng             | シェ シェ<br>谢谢 ありがとう<br>xiè xiè                      |

### 【問い合わせ先】

|          |              |            |              |
|----------|--------------|------------|--------------|
| 福祉総務課    | Tel 928-1045 | 中部生涯学習センター | Tel 932-7265 |
| 市民生活課    | Tel 928-1211 | 南部生涯学習センター | Tel 980-7713 |
| 人権・生涯学習課 | Tel 928-1006 | 松永生涯学習センター | Tel 934-5443 |
|          |              | 北部生涯学習センター | Tel 976-9460 |
|          |              | 東部生涯学習センター | Tel 940-2574 |
|          |              | 神辺生涯学習センター | Tel 962-5025 |

## 知っていますか？

## 「中国帰国者」のこと



人権平和資料館提供

## 「中国帰国者」とは

1972年の日中国交正常化以降、再開された肉親調査や帰国施策によって帰国した「中国残留邦人」（「中国残留孤児」や「中国残留婦人」）とその家族のことをいいます。

中国には、今もなお「中国残留邦人」が残っており、国では、現在も帰国のための訪日対面調査を続けています。

### 「中国残留孤児」

終戦時の混乱の中で、肉親と死別したり生き別れたりした子どもたちで、いろいろな形で中国人に引き取られ育てられた人たちのことです。



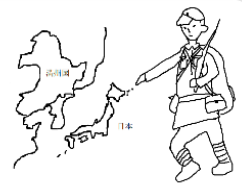
### 「中国残留婦人」

子どもを救うために、あるいは自ら生きていくために、中国の人の妻となった女性たちで、「終戦当時概ね13歳以上であった女性」と定義付けられた人たちのことです。





## 「中国帰国者」の歴史的背景



第一次世界大戦後、ニューヨーク株式大暴落に始まった世界恐慌に日本も巻き込まれ、国内の経済状況は破綻寸前の状態となりました。そうした中、日本（関東軍）は1931年の「満州事変」によって中国東北地方に「満州国」を成立させ、100万戸開拓民移住計画が生まれました。



その中に「青少年義勇軍」があり、その現地定着を確実なものにするため、全国から花嫁候補者が募集されました。不況により働き口を失っていた農山村の娘たちにとって、「大陸の花嫁」は魅力的なものとして聞こえました。しかし、太平洋戦争で関東軍の兵力が南方戦線へ投入されたことに伴い、開拓団の男子のほとんどが現地招集されました。その結果、開拓団は高齢者や女性、子どもだけになってしまいました。



終戦当時、十分な食料はなく、衣類、医薬品、燃料も極端に不足しており、栄養失調や衰弱のため、コレラや発疹チフスなどの伝染病が猛威を振るい、死者が続出しました。特に日本へ逃げる時、小さな子どもを連れて移動すると敵に発見されやすいので、子どもを現地の中国の人に預ける人も多くいました。そして生きるために子どもを連れて中国の家に嫁いでいった女性も数多くいました。

## 「中国帰国者」に関わるさまざまな活動

### 福山市中国帰国者の会



この会は、日中国交正常化以降中国から帰国し、現在福山市に居住している「残留孤児」・「残留婦人」とその家族で構成されています。「日本社会での一般生活及び経済的自立、さらに帰国者同士の相互扶助並びに親睦を図る」ことを目的として、1984年に約60人で結成され、現在も色んな活動をしています。

会の活動は、日常生活に困らないようにと、日本語の学習をすることから始まりましたが、現在では日本語教室だけでなく、中国映画の上映、料理、盆踊りなど地域の人たちとの交流を深める中で、共に生きる関係をつくるための活動も続けています。

### 日本語教室

1984年、ボランティアの講師によって始まった日本語教室は、1989年からは福山市の取り組みとして、深津・瀬戸コミュニティセンターで、それぞれ週1回、実施されています。



## 「中国帰国者」の現状

◇ 中国で専門的な知識や技能をもって仕事をしていた人でも、日本に帰国してからは、日本語が上手に話せないため、その能力を生かすことができません。従って就職するにも、日本語を話す機会が少ない職場でしか働けないということになります。

◇ 帰国者のなかでも、子どもは比較的早く日本語を習得しますが、大人は習得に時間がかかります。特に高齢者の場合は、大変な苦勞をするので、途中で習得をあきらめてしまうこともあります。そうした中で、過勞や心勞で体調を崩したり、社会とのつながりがもてずに家に引きこもってしまう例もあります。

◇ 日常生活を送る中で、日本語が話せない親の通訳をするために、子どもたちが学校を休まなければならないということがあります。こうしたことが頻繁にあると、子どもたちの学力にも影響がでることになります。

◇ 日本で育った子どもは、日本語が母語になるので日本語の使えない親との間で、話が通じなくなるという深刻な問題も起きています。

◇ 中国では、親族や友人との関係を大切にしているため、親の安否確認を含め、親や友人のところに集まる習慣があり、そのなかで騒音やトラブルになったり日本人の価値観とは違うため時々注意を受けることがあります。

◇ 帰国者三世・四世の場合は、「あなたは、なにじんか」と、他人から又は、自分自身へ問いかけ悩むことがあります。日本社会に溶け込もうとすることは、日本人に同化することではないはずですが、どちらかを選択させるような押し付けもあります。

### 関係歴史年表

| 年   | 1931    | 1932       | 1936                  | 1937             | 1938            | 1940   | 1941     | 1945   | 1946           | 1958              | 1972                  | 1978       | 1981       | 1985                 | 1989             | 1991                  | 1994                   | 1995                                 | 2000              | 2006     | 2008                  | 2014            | 2016           |           |                           |
|-----|---------|------------|-----------------------|------------------|-----------------|--------|----------|--------|----------------|-------------------|-----------------------|------------|------------|----------------------|------------------|-----------------------|------------------------|--------------------------------------|-------------------|----------|-----------------------|-----------------|----------------|-----------|---------------------------|
| 月/日 | 9/18    | 3/1        | 5/11                  |                  |                 | 5/3    | 12/8     | 8/9    | 8/15           | 7/12              | 5/2                   | 9/29       | 8/12       | 3/2~16               | 3/29             | 7/31                  | 6/20                   | 10/1                                 | 7/1               | 11/14    | 9/1                   | 4/1             | 10/1           |           |                           |
| 事項  | 満州事変始まる | 「満州国」建国を宣言 | 「満州国100万戸移住計画」を関東軍が作成 | 盧溝橋事件（日本軍が南京を占領） | 第一次満州開拓青少年義勇軍結成 | 開拓団法成立 | 太平洋戦争始まる | ソ連対日参戦 | 日本降伏で第二次世界大戦終結 | 「旧満州国」から引き揚げが行われる | 中国旗侮辱事件が起こり日中経済文化関係断絶 | 日中国交が正常化する | 日中平和友好条約締結 | 中国残留日本人孤児第一次肉親捜し団が訪日 | 身元未判明孤児の永住帰国受け入れ | 身元判明孤児に対する特別身元引受人制度創設 | 特別身元引受人制度の対象者に残留婦人等を追加 | 中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立支援に関する法律施行 | 広島中国帰国者定着促進センター開所 | 訪日対面調査実施 | 中国・四国中国帰国者支援・交流センター開所 | 支那支援員等生活支援事業の実施 | 中老基礎年金等の補完改定開始 | 配偶者支援金の実施 | 中国残留邦人を伝える戦後世代の語り部育成事業の開始 |